

支 部 長 挨拶

昨年の秋は当学会員の努力のお陰で日本気象学会札幌秋季大会を成功裡に挙行することが出来ました。大変ご苦労様でした。

本年度は通常年の学会活動です。既に、6月11日に研究発表会、7月28・29日に夏季大学が立派に挙行されました。また5月28日にカナダトロント大学Moore博士、7月5日にカナダ大気環境局のStewart博士および7月9日にドイツGKSS研究センターのRaschke博士の特別講演会が北大菊地教授のお世話で開催されました。今後は11月11日に気象講演会、12月7日に研究発表会が予定されています。北海道支部の理事、幹事、事務局をはじめ、学会員皆様の努力によって、これらも着実に実行されて行くものと確信しています。



僭越ですが気象庁のニュースを述べさせていただきますと、気象業務法の一部を改正する法律が5月19日に公布されました。高度情報化社会の要望に答えて、気象庁以外の者が局地予報等気象サービスをすることが出来るようにするために、民間気象事業支援センターと「気象予報士」という国家資格制度を一年以内に開設する運びとなっています。これまで気象庁によって独占されてきた気象予報サービスを一般も出来るようにするという画期的なものです。気象学会活動にも反映されると期待しています。

学会活動の目標は充実した講演および論文発表にあるわけですから、学会員皆様の日頃の調査研究活動を切にお祈りして挨拶に替えさせていただきます。

日本気象学会北海道支部長 久保田 効
(札幌管区気象台)